



第28期 株主通信

平成30年3月29日

株式会社ラ・アトレ

代表取締役社長 脇田栄一

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第28期（平成29年1月1日～12月31日）における首都圏新築マンション市況は、不動産経済研究所の調べによると、平成29年の発売戸数は35,898戸と、前年を0.4%上回り4年ぶりの増加となりました。また、平成29年の各月の契約率については、好調の目安といわれる70%を上回る月は3ヶ月となり、平均では68.1%と前年比0.7ポイントダウンいたしました。



一方、東日本不動産流通機構調べによる首都圏中古マンションの成約件数は、前年比0.4%増と3年連続で前年を上回り、過去最高を更新する結果となりました。また、成約物件の1㎡当たり平均単価は、前年比4.4%増と5年連続で上昇し、23年ぶりに50万円台となりました。新築マンション価格上昇の影響等が、中古マンションの需要増と成約価格の上昇につながっているものと思われます。

そのような環境の中、当社の連結売上高は8,271百万円、営業利益は849百万円、経常利益は612百万円、親会社株主に帰属する当期純利益450百万円を計上し、経常利益は過去最高を更新いたしました。

当社は、「魅力ある街づくり」をテーマに事業を進めており、当期の取り組みとして、「福岡市大橋プロジェクト」、「LA西巣鴨」や「ラ・アトレレジデンス下総中山」などの新築分譲マンション販売、今後の成長ドライバーとなる収益不動産開発である都心型店舗開発「A*G神宮前」、次世代型クリエイティブマンション「LA代々木」開発、ハイブリッド型シェアハウス「RooF明大前」など、当社の強みである「魅力ある企画」を積極展開いたしました。また、活況な中古マンションマーケットを見越し、これまでのプレミアムリノベーションマンションの戸別販売に加え、1戸2億円を超える好立地物件を「200Million-Renovation」シリーズとして取扱いを開始し、加えて、1棟リノベーションマンションとして「ラ・アトレレジデンス武蔵浦和WEST」に続き「ラ・アトレ所沢航空公園」の分譲を開始いたしました。不動産管理事業においては、緩和ケア・在宅ホスピス特化型の高齢者住宅施設「ナーシングホームOASIS南」を追加取得し、また、保有していた住居用マンション「自由ヶ丘グリーンハウス」を売却し、保有資産のポートフォリオの入れ替えを進めてまいりました。

これらの取り組みに加え、海外事業としてカンボジアコンドミニアムの販売を7月より開始したほか、ストームハーバー証券を財務アドバイザーに迎え、マッコーリー・バンク・リミテッドを割当先とする自己株式を活用した資金調達を実施いたしました。

魅力ある街づくり事例





第 28 期 株主通信

株主還元

平成29年12月期の期末配当は、増配し1株あたり6円とし、平成30年12月期においては、配当方針を以下のとおり変更するとともに、配当計画は平成29年12月期末配当金の倍額となる1株あたり12円とする計画とさせていただきます。

株主の皆様への利益還元を経営の重要な政策の一つと考えており、配当については企業体質の強化と将来の事業展開を勘案しながら業績に応じて配当を実施することとし、親会社株主に帰属する当期純利益をベースとした配当性向を「10%以上20%目標」とする利益還元を目指すことを基本方針としてまいります。

当社といたしましては、今後も事業の拡大及び株主の皆様にとって魅力のある企業になれるべく、全社一丸となって努めてまいりますので、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。